

# 第67期 決算のご報告

2022年4月1日から 2023年3月31日まで

エスケー化研株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。  
ここに第67期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期は新型コロナウイルス感染症による影響を受けながらも徐々に社会経済活動の制限が緩和され、景気は緩やかに持ち直しの動きが見受けられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰、世界的な金融引き締めによる急激な為替変動等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした大規模再開発案件の需要や物流施設・公共物件が堅調に推移致しました。しかし一方、戸建住宅等はインフレ等の影響を受け、消費者マインドにブレーキがかかりました。また、慢性的な人材不足による現場技術者及び現場作業員の確保と育成が大きな課題であり、建築費・人件費の高騰、人材の高齢化等厳しい市場環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、「無から有」の企業理念に基づき「省力化」「快適」「健康」「安全」「安心」「環境性向上」「資産価値の向上」をキーワードに建築用仕上塗材・新型化学建材の分野において、新技術・新製品及び新需要の開発に取り組んでまいりました。また、営業面においては超耐久・超低汚染塗料、環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、高意匠性塗材や耐火断熱材等の拡販に努め、当連結会計年度の売上高は955億80百万円(前年同期比8.3%増)となり利益面では高付加価値製品の販売拡大と為替変動の影響により経常利益が128億3百万円(同1.0%減)となりました。

次年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、景気の持ち直しの傾向があるものの、ウクライナ情勢の長期化や海外経済の減速、資源価格の高騰、賃上げによる人件費の高騰等、国内外の経済環境は依然として先行き不透明な状況で推移すると思われます。こうした経済情勢の中、当社グループにおきましては、市場のニーズに対応した技術開発・製品開発を推進し、新築・改修案件に対時的確な提案を行い、市場での信用拡大・業績向上に向けて当社グループ一丸となって努めてまいります。

次期の業績の見通しにつきましては、原材料価格の高騰と為替の変動もあり売上高は1000億円(当期比4.6%増)、営業利益102億円(当期比2.6%増)、経常利益111億円(当期比13.3%減)、親会社株主に帰属する当期利益78億円(当期比13.7%減)を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長

藤井 実広



省力化

快適

健康

安全

安心

環境性向上

資産価値の向上

建築用総合塗材国内シェアNo.1

※2022年NSK日本建築仕上材工業会調べ



## 企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による影響を受けながらも徐々に社会経済活動の制限が緩和され、景気は緩やかに持ち直しの動きが見受けられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰、世界的な金融引き締めによる急激な為替変動等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした大規模再開発案件の需要や物流施設・公共物件が堅調に推移致しました。しかし一方、戸建住宅等はインフレの影響を受け、消費者マインドにブレーキがかかりました。また、慢性的な人材不足による現場技術者及び現場作業員の確保と育成が大きな課題であり、建築費・人件費の高騰、人材の高齢化等厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、原価の低減と経費削減に努めるとともに、販売価格の見直しを行い、引き続き新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、地球温暖化現象に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆材・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は、955億80百万円（前年同期比8.3%増）となりました。利益面におきましては、原材料の高騰を受けて製品価格の値上げを行いました。営業利益は、99億41百万円（同4.4%減）となり、経常利益は、為替変動の影響等により128億3百万円（同1.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、90億34百万円（同2.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

### ①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、特にリニューアル市場において超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化した省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行い、売上高は855億82百万円（前年同期比7.2%増）と前連結会計年度に比べて57億72百万円の増収となりました。セグメント利益は111億31百万円（同5.9%減）と前連結会計年度

に比べて6億96百万円の減益となりました。

### ②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、都市部の再開発事業における受注は続いており、売上高は77億10百万円（同18.1%増）と前連結会計年度に比べて11億79百万円の増収となりました。セグメント利益は、8億92百万円（同38.7%増）と前連結会計年度に比べて2億48百万円の増益となりました。

### ③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は22億86百万円（同17.8%増）と前連結会計年度に比べて3億45百万円の増収となりました。セグメント利益は1億7百万円（同71.2%増）と前連結会計年度に比べて44百万円の増益となりました。

## 企業集団が対応すべき課題

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、景気の持ち直しの傾向があるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や海外経済の減速、資源価格の高騰、賃上げによる人件費の高騰等、国内外の経済環境は依然として先行き不透明な状況で推移すると思われれます。

こうした経済情勢の中、建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした再開発の需要が見込まれますが、一方、労務者不足・人件費の高騰、物流コストや原材料価格の高騰など経営環境へのリスクも多く、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況下、プレミアムシリーズなどの高級製品による需要の底上げ、耐火断熱や高耐候性・高意匠性の製品などを提案して既存取引先の深耕と新規開拓を推進して、常に、「無から有」をモットーに、「環境性向上」「資産価値の向上」「省力化」「快適」「健康」「安全」「安心」をキーワードとして、需要開発に努めるとともに、経営理念や社是・社訓に基づいた事業活動を進めております。そして、コーポレートガバナンス体制を重視した社内組織体制の一層の充実を図り、より一段と国内外の新市場の開発に尽力し、持続可能な新技術革新、新製品の開発を通じて会社業績向上に努めてまいります。

# 企業集団の財産及び損益の状況の推移

## 売上高



## 総資産



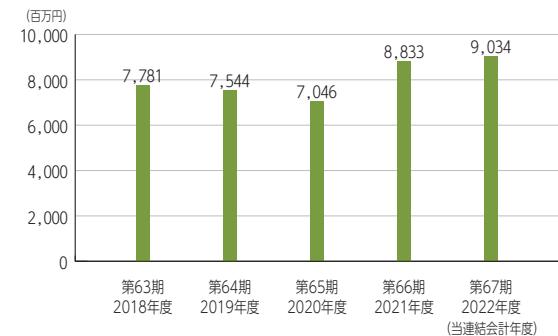
## 経常利益



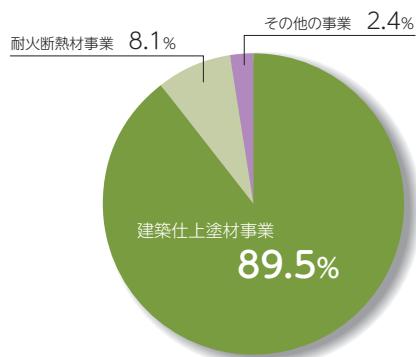
## 純資産



## 当期純利益



## 事業区分別売上高構成比



※「収益認識に関する会計基準」等を第66期の期首から適用しており、第66期以降に係る売上高については、当該会計基準等を適用した後の売上高となっております。

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>137,200</b>	<b>128,894</b>
現金及び預金	106,717	99,495
受取手形及び売掛金	16,837	17,903
電子記録債権	2,022	2,865
有価証券	3,671	-
商品及び製品	1,925	1,995
仕掛品	1,082	1,365
未成工事支出金	195	185
原材料及び貯蔵品	4,054	4,188
その他	727	909
貸倒引当金	△ 33	△ 13
<b>固定資産</b>	<b>20,267</b>	<b>40,148</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>12,884</b>	<b>12,919</b>
建物及び構築物	3,664	3,505
機械装置及び運搬具	190	175
土地	8,213	8,253
建設仮勘定	13	139
その他	802	845
<b>無形固定資産</b>	<b>751</b>	<b>779</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,632</b>	<b>26,449</b>
投資有価証券	3,017	7,616
繰延税金資産	64	64
長期預金	36	15,068
退職給付に係る資産	1,338	1,479
その他	2,292	2,356
貸倒引当金	△ 117	△ 135
<b>資産合計</b>	<b>157,468</b>	<b>169,043</b>

科 目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>21,991</b>	<b>24,102</b>
支払手形及び買掛金	7,381	9,557
短期借入金	3,110	3,000
未払金	5,490	5,937
未払法人税等	2,513	2,040
賞与引当金	1,580	1,526
役員賞与引当金	82	92
製品保証引当金	108	109
その他	1,723	1,838
<b>固定負債</b>	<b>3,833</b>	<b>3,973</b>
繰延税金負債	87	37
役員退職慰労引当金	1,232	1,253
退職給付に係る負債	151	146
その他	2,362	2,535
<b>負債合計</b>	<b>25,825</b>	<b>28,075</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>130,021</b>	<b>137,977</b>
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	133,740	141,696
自己株式	△ 9,518	△ 9,518
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>1,621</b>	<b>2,989</b>
その他有価証券評価差額金	2	3
為替換算調整勘定	1,579	2,881
退職給付に係る調整累計額	39	104
<b>純資産合計</b>	<b>131,643</b>	<b>140,967</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>157,468</b>	<b>169,043</b>

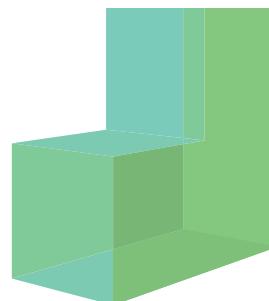
※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度		当連結会計年度	
	2021年4月1日から	2022年3月31日まで	2022年4月1日から	2023年3月31日まで
売上高		88,282		95,580
売上原価		61,362		68,411
売上総利益		26,919		27,169
販売費及び一般管理費		16,517		17,227
営業利益		10,402		9,941
営業外収益				
受取利息	211		625	
受取配当金	0		0	
為替差益	2,163		2,038	
為替換算調整勘定取崩益	23		-	
その他	163	2,562	237	2,902
営業外費用				
支払利息	24		30	
その他	12	37	9	39
経常利益		12,928		12,803
税金等調整前当期純利益		12,928		12,803
法人税、住民税及び事業税	4,098		3,852	
法人税等調整額	△3	4,094	△84	3,768
当期純利益		8,833		9,034
非支配株主に帰属する当期純利益		-		-
親会社株主に帰属する当期純利益		8,833		9,034

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当連結会計年度期首残高	2,662	3,137	133,740	△9,518	130,021	2	1,579	39	1,621	131,643
当連結会計年度変動額										
剰余金の配当			△1,078		△1,078					△1,078
親会社株主に帰属する当期純利益			9,034		9,034					9,034
株主資本以外の項目の 当連結会計年度変動額（純額）						1	1,302	65	1,368	1,368
当連結会計年度変動額合計	-	-	7,956	-	7,956	1	1,302	65	1,368	9,324
当連結会計年度末残高	2,662	3,137	141,696	△9,518	137,977	3	2,881	104	2,989	140,967

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 (2022年3月31日現在)	当事業年度 (2023年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流 動 資 産</b>	<b>120,285</b>	<b>110,240</b>
現金及び預金	93,938	85,675
受取手形	3,969	3,376
電子記録債権	2,022	2,865
売掛金	11,144	12,299
有価証券	3,671	-
商品及び製品	1,456	1,504
仕掛品	1,067	1,348
未成工事支出金	195	181
原材料及び貯蔵品	2,581	2,423
その他	475	827
貸倒引当金	△ 237	△ 262
<b>固 定 資 産</b>	<b>24,468</b>	<b>45,088</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>10,968</b>	<b>10,905</b>
建物	2,811	2,660
構築物	180	170
機械及び装置	108	89
車両運搬具	10	12
工具器具及び備品	40	29
土地	7,803	7,803
建設仮勘定	13	139
<b>無形固定資産</b>	<b>75</b>	<b>59</b>
ソフトウェア	59	44
その他	15	15
<b>投資その他の資産</b>	<b>13,424</b>	<b>34,123</b>
投資有価証券	3,017	7,615
関係会社株式	3,658	4,665
長期預金	-	15,000
長期貸付金	2,290	2,317
繰延税金資産	1,892	1,853
差入保証金	830	822
その他	2,489	2,624
貸倒引当金	△ 299	△ 318
投資損失引当金	△ 454	△ 455
<b>資 産 合 計</b>	<b>144,754</b>	<b>155,329</b>

科 目	前事業年度 (2022年3月31日現在)	当事業年度 (2023年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流 動 負 債</b>	<b>20,136</b>	<b>21,638</b>
支払手形	1,515	1,773
買掛金	5,447	7,160
短期借入金	3,000	3,000
未払金	4,677	4,700
未払費用	758	790
未払法人税等	2,491	2,006
未払消費税等	401	375
賞与引当金	1,526	1,472
役員賞与引当金	82	92
製品保証引当金	101	100
その他	133	166
<b>固 定 負 債</b>	<b>3,078</b>	<b>3,232</b>
退職給付引当金	127	135
役員退職慰労引当金	1,232	1,253
その他	1,718	1,843
<b>負 債 合 計</b>	<b>23,214</b>	<b>24,871</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株 主 資 本</b>	<b>121,536</b>	<b>130,454</b>
資 本 金	2,662	2,662
資 本 剰 余 金	3,137	3,137
資本準備金	210	210
その他資本剰余金	2,926	2,926
利 益 剰 余 金	125,255	134,173
利益準備金	455	455
その他利益剰余金	124,800	133,718
固定資産圧縮積立金	13	12
別途積立金	114,050	122,550
繰越利益剰余金	10,736	11,155
<b>自 己 株 式</b>	<b>△ 9,518</b>	<b>△ 9,518</b>
評価・換算差額等	2	3
その他有価証券評価差額金	2	3
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>121,539</b>	<b>130,457</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>144,754</b>	<b>155,329</b>

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで		当事業年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	
	売上高		77,993	
売上原価		54,189		58,807
売上総利益		23,804		23,814
販売費及び一般管理費		13,785		14,068
営業利益		10,019		9,745
営業外収益				
受取利息及び配当金	1,076		1,852	
為替差益	2,162		2,031	
その他	136	3,375	195	4,079
営業外費用				
支払利息	8		8	
投資損失引当金繰入額	3		1	
その他	9	21	12	22
経常利益		13,373		13,802
税引前当期純利益		13,373		13,802
法人税、住民税及び事業税	3,943		3,768	
法人税等調整額	△ 16	3,926	38	3,806
当期純利益		9,447		9,996

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書

当事業年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本										評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			利益 剰余金 合計	自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金		評価・ 換算差額 等合計
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金						
当 期 首 残 高	2,662	210	2,926	3,137	455	13	114,050	10,736	125,255	△ 9,518	121,536	2	2	121,539
当 期 変 動 額														
固定資産圧縮積立金の取崩						△ 1		1	－		－			－
別途積立金の積立							8,500	△ 8,500	－		－			－
剰余金の配当								△ 1,078	△ 1,078		△ 1,078			△ 1,078
当期純利益								9,996	9,996		9,996			9,996
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）												1	1	1
当 期 変 動 額 合 計	－	－	－	－	－	△ 1	8,500	418	8,917	－	8,917	1	1	8,918
当 期 末 残 高	2,662	210	2,926	3,137	455	12	122,550	11,155	134,173	△ 9,518	130,454	3	3	130,457

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

国内実績



四条河原町温泉 空庭テラス京都 京都市  
サンドエレガント、グラニビエーレ (木目調(たたき石調)、  
ペルアート



吹田市立博物館 大阪府  
セラミRC-FR工法



アーバンドッグシティ豊洲 東京都  
スーパーセラタイトF、  
ノキフレッシュセラ、  
クリーンマイルドシリコン



高槻城公園芸術文化劇場 南館 大阪府  
SKタイカコート



国立療養所邑久光明園架橋 岡山県  
ハブリタイトエコST



名古屋造形大学 名城公園キャンパス  
愛知県  
SKタイカコート



博多区新庁舎 福岡県  
グラニクイーンクール、ファイナFR工法IN



に採用され、それぞれの国の建築文化の向上に大きく貢献しています。

■ 海外実績



杭州国家版本館 中国  
SKKセラミクリートSi



武漢盛観尚城 中国  
SKKロマンストーン、SKKグラニパレス



昆明恒隆広場 中国  
SKKセラタイカ2号



VIVO東莞長安研究開発本部 中国  
【工場棟改修】 SKKミラクボーセイM、  
SKK P.U.エナメル、SKKフッソクリヤー  
【オフィス棟新築】  
SKKグラノスターネオ、エコフレッシュ  
【従業員マンション】  
SKKグラノスターネオ



長春南溪虹著物件 中国  
SKKグラニパレス、SKK 水性セラミシリコン



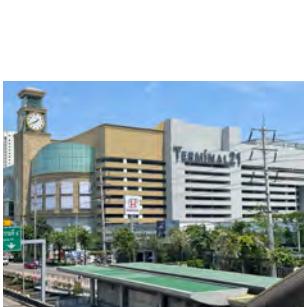
成都東安湖体育公園 中国  
SKKセラミクリート特殊仕様



JAKARTA MORI TOWER インドネシア  
サテンシルク、インターマツト、SKエボW EHG、アーキフロア-EH、  
パイオフィン、SKアクアウレタン、ミラクビューティファイン、他



Raceview Mansion 香港  
グラニビエーレ (御影石調)



TERMINAL21 RAMA3 タイ  
サンドエレガント、グラニパレス、ベルアート



Galaxy Blue Sapphire Plaza インド  
エレガントストーンサガン、グラニクイーン



CapitaSpring シンガポール  
インターマツト、スーパーレナフレックス、  
パイオフィン345、SKエボW EHG、  
SKフロアーフィラー、他



Pearl Point Hotel マレーシア  
ミラクシルドナノ、アーキフロア-TR5+SLE2M

- 対面式の展示会として、6月 国際食品工業展 FOOMA JAPAN 2022、10月 インテリアトレンドショー JAPANTEX 2022、3月 店舗総合見本市 JAPAN SHOP 2023 に出展し、多くの方に直接製品の紹介をさせていただきました。

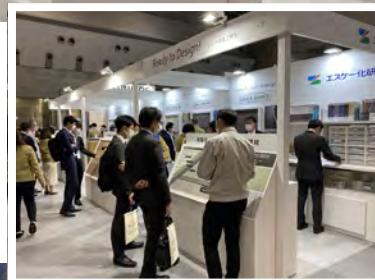
## 6月

国際食品工業展「FOOMA JAPAN 2022」  
食品工場のリニューアルに特化した製品・工法を出展しました。



## 10月

インテリアトレンドショー「JAPANTEX 2022」  
内装市場向けに高意匠 NFD 製品を出展しました。



# 未来へつながる新型製品を提供し続けます。

## 3月

店舗総合見本市「JAPAN SHOP 2023」  
店舗向けに高意匠 NFD 製品を出展しました。



- 代表的な新製品紹介  
好評なシリーズのラインアップを充実し、  
お客様のニーズに応じています。

## 7月

昨年上市した水性のエスケーププレミアム無機の高評を受け弱溶剤系のエスケーププレミアム無機マイルドを上市しました。



## 6月

深みのあるエイジング風の豪華な仕上げで好評のファインFR工法シリーズに、トレンドであるマットで「ざらざら」なエイジング仕上げのファインFR-TEX工法を加えました。



# 会社概要 (2023年3月31日現在)

設 立 1958年4月17日

資 本 金 26億62百万円  
連 結 純 資 産 1,409億67百万円

企 業 集 団 の 従 業 員 数 2,227名 (臨時従業員を除く)

事 業 内 容

- 建築仕上塗材事業  
有機無機水系塗材、合成樹脂塗料、無機質系塗材、高級内装装飾材、高意匠性内外シート建材、無機質建材の製造販売及び特殊仕上工事の請負
- 耐火断熱材事業  
断熱材、耐火被覆材、耐火塗料の製造販売及び耐火断熱工事の請負
- その他の事業  
各種化成品の製造販売

## ■ 役 員 (2023年6月30日現在)

代表取締役会長	藤 井 實	取 締 役	竹 内 正 博
代表取締役社長	藤 井 実 広	取 締 役	長 塚 孝 史
専務取締役	坂 本 雅 英	取 締 役	西 田 伸 二
常務取締役	片 岡 秀 人	取 締 役	本 電 坦 道
取 締 役	藤 井 訓 広	取 締 役	濱 名 正 二
取 締 役	福 岡 透	取 締 役	竹 原 道 幸
取 締 役	伊 藤 義 之	取 締 役	尾 崎 賢

## ■ 主要な関係会社

SKK (S) PTE.LTD. (シンガポール)

SKK (H.K.) Co.Limited (香港)

H.K.SHIKOKU CO.,LTD. (香港)

SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD. (上海)

SK KAKEN (M) SDN.BHD. (マレーシア)

SKK CHEMICAL (M) SDN.BHD. (マレーシア)

SK COATINGS SDN.BHD. (マレーシア)

SK KAKEN (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)

SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)

PT SKK KAKEN INDONESIA (インドネシア)

PT SKK KAKEN KONSTRUKSI (インドネシア)

PT SKK KAKEN DISTRIBUSI (インドネシア)



本社



SKKグローバルセンター



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.  
／上海営業所



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.  
／北京分公司



SKK (H.K.) Co.Limited



第一技術研究所



第二技術研究所

## 国内主要事業所 (2023年6月30日現在)

本事業本部	社	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
国際事業本部	支店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
東京支社	支店	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18
札幌支店	支店	〒065-0042	北海道札幌市東区本町二条10-2-39
仙台支店	支店	〒983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野1-5-12
東京支店	支店	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18
千葉支店	支店	〒263-0003	千葉県千葉市稲毛区小深町122-1
埼玉支店	支店	〒337-0051	埼玉県さいたま市見沼区東大宮6-30-48
横浜支店	支店	〒244-0801	神奈川県横浜市戸塚区品濃町549-2
北陸支店	支店	〒920-8203	石川県金沢市鞍月3-34
名古屋支店	支店	〒451-0044	愛知県名古屋市中区西区菊井2-14-19
京都支店	支店	〒612-8415	京都府京都市伏見区竹田中島町263
大阪支店	支店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-31
神戸支店	支店	〒652-0807	兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5-1
広島支店	支店	〒731-5161	広島県広島市佐伯区五日市港2-1-5
高松支店	支店	〒761-8073	香川県高松市太田下町2585-3
福岡支店	支店	〒813-0062	福岡県福岡市東区松島5-6-16
大根工場	工場	〒303-0044	茨城県常総市菅生町57-1
埼玉工場	工場	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-6
神奈川工場	工場	〒252-0012	神奈川県座間市広野台2-3-30
名古屋工場	工場	〒475-0032	愛知県半田市潮干町1-2
大阪工場	工場	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-5
兵庫工場	工場	〒679-0221	兵庫県加東市河高355-40
九州工場	工場	〒820-0609	福岡県嘉穂郡桂川町吉隈429-26
第一技術研究所	研究所	〒567-0059	大阪府茨木市清水1-25-10
第二技術研究所	研究所	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-1
SKKグローバルセンター	支店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-12-2



大根工場



神奈川工場



埼玉工場



名古屋工場



九州工場



大阪工場



兵庫工場



PT SKK KAKEN INDONESIA



SKK (S) PTE.LTD.



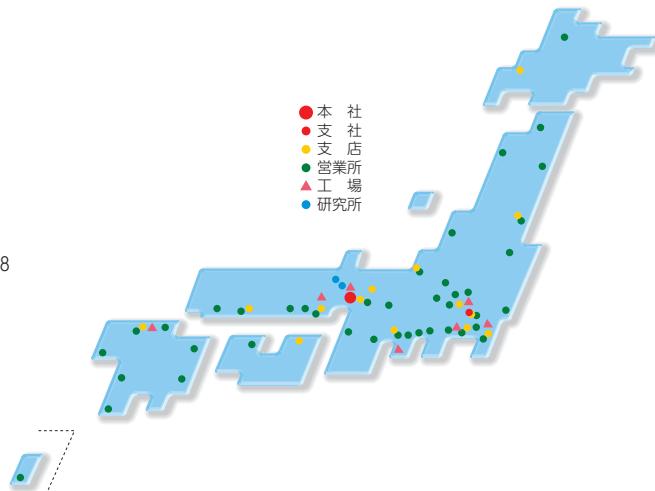
SKK CHEMICAL (M) SDN. BHD.



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.



SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.





## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載します。 なお、やむを得ない理由により電子公告ができない 場合は、日本経済新聞に掲載します。

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<https://www.sk-kaken.co.jp/>